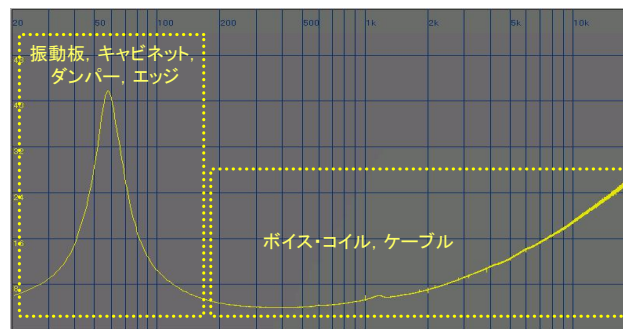




スピーカー・インピーダンス・アナライザー **SIA-01**

オズ株式会社

インピーダンス・カーブとは？



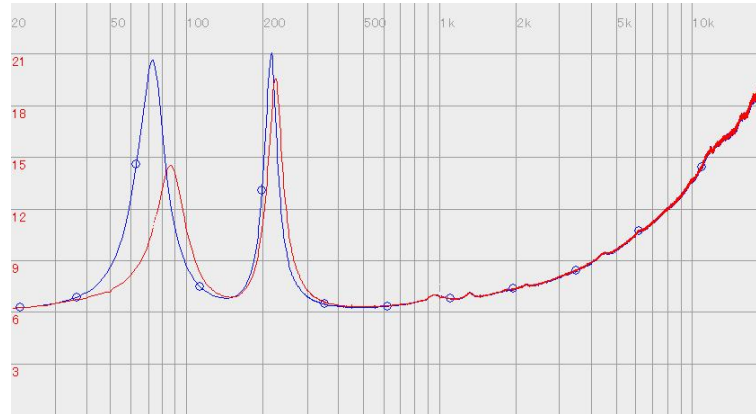
スピーカーを構成する各部の特性が現れる



不具合や劣化があるとカーブに変化が生じる

正常時との比較によりスピーカーの診断が可能

インピーダンス・カーブ例



- 青 … 正常なカーブ
赤 … エッジが硬くなったとき

SIA-01の特長

- スピーカーの診断を行うためのインピーダンス・アナライザ
 - 正常品のスピーカーのインピーダンス・カーブをリファレンス・カーブとしてあらかじめ測定し記憶。診断を行うスピーカーのインピーダンス・カーブと比較し、偏差(%)とOK/NG判定結果を表示。
※インピーダンス・カーブの表示にはPCと管理ソフトウェアが必要です。
- 64種類のスピーカーを診断可能
 - 64種類のリファレンス・カーブを記憶可能。
 - 接続ケーブルを含めた状態での診断も可能。
- NG判定の種類から不良箇所の推測が可能
 - インピーダンス・カーブの変化状況から6種類に分類しNG表示。
- PCにて測定結果、リファレンス・カーブの管理が可能
 - 過去64回分の測定結果を測定日時と共に本体内に自動保存。
 - RS232C端子にてPCへ取込みインピーダンス・カーブの解析・管理が可能。
※専用の管理ソフトウェアを使用。(無償, 7月リリース予定)
- 電池にて約8時間動作
 - 本機だけでスピーカーの診断が可能。
 - アルカリ 単三電池 5本使用。